

倫理委員会議事録

1. 開催日時 平成22年7月29日(木) 17:00～17:30
2. 開催場所 第一会議室
3. 出席者 橋本副院長、黒木臨床研究部長、山崎事務部長、宮平看護部長、
八尾生化学研究室長、松本臨床検査技師長
古賀委員(外部委員)、山田委員(外部委員)
(記録) 管理課長
4. 審議課題 以下の課題につき、別紙申請書に基づいて代表者から研究内容の説明があり、委員からの質疑の後、審議結果となった。

受付番号22-5

課題名 地域で暮らす当事者におけるリカバリーの関連要因について

代表者名 教育担当師長 伊坂 満里子

質疑内容

- ・同意書は同意日だけで良いのか。協力者が氏名を書かなくても日付だけで同意書になるのか。
→本人が名前を書くのに抵抗がある人を考慮した。
- ・同意書として成り立つのか。誰かが日付を書いただけで良いのか。
→確認し検討する。
- ・アンケート調査は伊坂師長と外来スタッフの予定か。
→藤本先生と山川先生に調査する時に来て頂き、個人で書ける人はそのまま書いてもらう。
- ・患者のリクルートを誰がするのか。
→北島副師長と各先生の許可があった上でやる。
- ・共同担当者とか共同研究者の名前を申請書に入れた方が良いのでは。
- ・ピアサポートについて、リカバリーが促進されると論じられていると書いてあるが根拠は。リカバリーに焦点を当てた先行研究は極めて少ないと書いているがいくらかあるのか。
→日本ではひとつのピアサポートがリカバリーとの関連があるということなどでどのように影響しているかは出ていない。

- ・論じてあるというところの根拠（文献等）が論議を進める時には目的など納得しやすいのではないか。
→文書を付けることにする。
- ・P 4に「得られて情報は研究者が研究終了後に破棄すること。」とあるが5年保存してなければならないのではないか。
→何年ぐらいか。
- ・普通5年というが。
→大学で調べて保存期間後に付け加える。
- ・同意書の件であるが、アンケートを受ける人は良いが研究者が秘密保持をしますよという誓約書部分はいらないのか。
→所属名も記載するように見直す。
- ・地域は漠然としているが具体的に特定しているものはないのか。
→生活されている方を対象としたい。

審議内容

- ・①同意書の件 ②実務的に動いている人の件 ③リカバリーの概念の概況を示すような論文 ④情報をどこまで保存していくかどうか。基本的に研究として進めるには特に倫理的に支障はない。ご指摘頂いたことをクリアできれば構わないと思うがどうか。
→賛成

審議結果

条件付承認

- ・ご指摘の事項をクリアして頂いた上で承認したい。